



Jesus to Every Japanese, Jesus Everyday

JEMS 日本語部コーディネーター 藤本三奈子

『あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあつて、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。一光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義の真実なのです。』 (エペソ5:8-9節)

尊い主の御名を賛美致します。

皆様のお祈り、また経済的支援により、JEMS 日本語部のコーディネーターとしての働きを継続できておりますことを心より感謝申し上げます。JEMS 日本語部チームにお一人お一人が一員として関わって下さることで、JEMS の日本語部としての働きが進んでいきます。尊いサポートを心より感謝致します。

JEMS 宣教師の働き

JEMS は Japanese Missionary Society (日系人福音宣教協力会)として、1950年5月に戦後の教会を建て直し、地域社会に福音を伝え、宣教師を日本に送ることでイエス・キリストの救いを宣べ伝えようという思いをもった牧師たちの祈りによって、マウント・ハーモン修養会で誕生しました。

これまで神様は多くの方々の祈りと信仰に応じて下さり、アメリカ国内での働きに加え、現在は11組のご夫婦と2人の計24人のJEMS 宣教師が日本各地で宣教の働きをしています。また、JEMS の協力宣教師がアメリカや日本で伝道活動を行っており、夏にはJEMS短期宣教チームが南米と日本に送られています。

JEMS宣教師として、2012年より盛岡みなみ聖書教会で大塚牧師と協力をして宣教の働きをしているジョン & まきロブソンご夫妻のプレーレターに、私が一昨年に東北地方をお訪ねした時にお目にかかった、宮古市でホテルを運営されているご主人が、イエス様を受け入れる祈りをされたこととありました。

ロブソン師は津波が起こった2011年3月11日の3週間後に状況を視察するためにチームで被災地



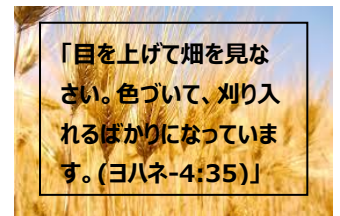
ご主人(中央)とロブソン師(その右)

に入りました。津波で1階が水につかったご主人のホテルがコンタクト先だと思い、ホテルの泥かきをしたのですが、実は間違いだったそうです。しかし、ご主人はその地域でチームが活動するための滞在先としてホテルを提供してくれ、活動が終わった後も地元の牧師がコンタクトを取っていたそうです。ロビンソン師のレターには「日本のいなかの小さな町で福音を伝えるのは大変難しい。ましてシニアの方々は、新しい考えに抵抗を感じる世代なので、伝道するのに最も困難を極めるグループである。しかし、彼は津波から3年間キリストの愛を体験し続け、イエス様を信じ受け入れた。奥さんも走って来て、祈りの途中で一緒に祈りに加わった。奇跡としか言いようがないことが起こったのだ。Praise God!」と結んでいました。

私がお訪ねをした時は、ホテルの再開に向けて準備をしていらっしやるとのことでしたが、ご主人も津波に流され、ポケットに入れていた携帯のストラップが何かに引っかかった

ために、辛うじて流されずに済んだとお話をして下さいました。お盆前にお訪ねをしたので、玄関先には、仏前に備えるフルーツの籠盛りがいくつか置いてあったのを覚えております。他の大多数の日本人と同様にお盆を大切にしていた日本人シニアの方が、クリスチャンを通して、イエス・キリストの愛を体験することで救われました。3年という月日に渡り、多くのクリスチャンが関わり、多くの祈りによって、伝道するのが最も難しいと思われる層に属する方が救われたのです。確かに日本は宣教することが難しい国ですが、不可能ではないことを改めて思いました。

また、2014年7月から日本に滞在するFongJEMS宣教師は、自身のブログの中で、日本語を学ばなければならない理由を日本人と深い話をするには、日本人の“心に響く”日本語を話すことが大切であり、日本語は表現が豊かであるため、英語だと10分かかって説明しなければならない微妙なニュアンスも日本語だと一言で伝わるからである、とその重要性を語っています。日本は、バングラデシュに続き、世界で最も福音が伝わっていない国とされています。日本語を話す私たち一人ひとりは、すでに日本での伝道に備えられています。JEMSでは日本語を話す方が東北へ、そして日本各地へ遣わされることを願い、祈っています。長期はもちろんですが、短期でも現地でも働きをしている方々の大きな励みとなりますので、日本宣教についてJEMSまでお問い合わせ下さい。



祈りのリクエスト

- 8月23日にガーデナ平原バプテスト教会で行われました愛修会のためにお祈りをありがとうございました。祝福と恵みが豊かに注がれた集会となりました。今後も愛修会の働きが米国においても広がって行くように。
- JEMS 宣教師が主のみこころに従った働きをすることができ、経済的必要が満たされ、健康が守られるように。
- 日本語を話すチームを日本へ送ることができるように。
- 東北被災地支援で働きをしている方々が疲れを覚えず、継続した支援ができるように。また、被災された方々にキリストにある希望と愛が届くように。
- 日本語部の協力者が与えられ、コーディネーターとしての経済的サポートが満たされるように。

経済的支援をして下さる方はJEMS宛の

チェックのメモ欄に「Minako Fujimoto Support」とご記入ください。



Jesus to every Japanese. Jesus everyday.